

もんげー  
岡山!



人づくり  
産地づくり  
ブランドづくり

# くらしき 普及指導センターだより 2014



© 岡山県「ももっち」と「うらっち」



岡山県備中県民局農林水産事業部  
倉敷農業普及指導センター

## 目 次

特集① 新時代を拓く！もも産地	1
特集② 育て！水田農業の担い手	4
力入れています！	
新規参入者の募集をバックアップ！	6
複式簿記からはじめる経営改善	6
次世代フルーツを進めています	7
年末年始も連島ごぼうが食卓に♪	8
チャレンジセロリ教室開講！	8
総社で有望なりんどうの品種はどれだ！	9
ヒートストレスメーターを活用して夏を乗り切る！！	9
ご存じですか？	
市内百貨店で「15一会市」開催	10
「朝日特別栽培れんげ米」をどうぞ！	10
イネWCS専用品種「たちすずか」の栽培が拡大	11
はじめまして！新農業士です	11
受賞おめでとうございます	12
新しく農業始めます！どうぞよろしく	13

(表紙写真の説明)

(上) 吉備路フルーツ作り初心者教室 (ももの夏季せん定)

(下) J A岡山西果実共進会 (もも) の審査風景

(右) イネWCS (稲発酵粗飼料) の収穫作業

平成27年1月30日 発刊

# 特集① 新時代を拓く！もも産地

## 1. 吉備路のもものブランド化をめざして

### (1) 「きびじ総社ピーチ・ブランディング協議会」を設立

ももは、供給期間が6～9月と短く、加工等による年間を通じた供給体制の確立が求められています。

そこで、JA岡山西吉備路アグリセンターを中心に、総社市の2つのもも生産組合（吉備路もも出荷組合、総社もも生産組合）で構成する「きびじ総社ピーチ・ブランディング協議会」（代表：吉富明）を6月20日に設立しました。



協議会の設立（6月20日）

### (2) もものスイーツ開発

協議会は備中地域の製菓店10店舗で構成する「吉備の国スイーツ研究会」（代表：吉水直樹）と連携して、新たなスイーツの開発を進めています。ももの最盛期である7～8月には、生果のフレッシュな風味を生かしたスイーツ「もも太郎ジュレ」を開発し、9店舗で約3千個販売しました。

また、生果のない時期にもものスイーツを販売できるように、シロップ漬を使ったスイーツの開発を進めています。11月11日には、各店舗で試作したスイーツを試食し、スイーツに適したシロップ漬の加工方法や品種について話し合いました。その中で、シロップ漬の瓶の中でももの硬さにバラツキができる等の課題も出てきました。



もも太郎ジュレ（7月26日から約1か月間販売）

### (3) 今後に向けて

実需者である「吉備の国スイーツ研究会」と一緒に、加工技術の向上を図り、吉備路の顔となる新商品を育てていきたいと考えています。



シロップ漬を使った試作スイーツ



吉備路もも出荷組合  
総社もも生産組合

<https://www.facebook.com/kibijimomo>

<https://www.facebook.com/soujamomo>



## 2. いざ首都圏へ...広がるももの販売先

吉備路もも出荷組合は平成25年度から、総社もも生産組合は今年度から首都圏へ向けて本格出荷を始めました。

今年度は昨年を大幅に上回る38.7t（平成24年2.8t、平成25年14.9t）を出荷しました。大田市場を経由し、「サン・フルーツ」、「新宿高野」などの高級果物専門店での販売が定着し、岡山を代表するももとして首都圏で販路拡大が進んでいます。

吉備路もも出荷組合は、首都圏の仲卸や小売店の聞き取りをするとともに、一層の有利販売と新規開拓のために高級スーパー「九州屋東急二子玉川店」で岡山の桃フェア（試食販売）を行うなど、吉備路産ももの魅力を積極的に発信しています。

また、総社もも生産組合の秋山組合長は、「新宿高野」で、ももの講座を行うなど消費者へのPRも行っています。



仲卸との意見交換（7月19日）



消費者へのももの講座（9月5日）

## 3. 浅原独特のマーケティング

浅原園芸組合は、倉敷市内の大学で食品栄養学を専攻する学生に、岡山県の特産品への愛着を持ってもらおうと袋掛けや収穫など年3回の体験を行っています。また、学生の中から希望者を募り果物専門店での試食宣伝のお手伝いもお願いしています。学生からは、体験することで栽培の苦勞がわかり、もものおいしさが一層高まるとの意見が多くありました。

また、市場・仲卸の担当者へは、ももの生育・出荷予測状況等を早く正確に伝えるため「浅原もも便り」を作り、情報を提供しています。写真が多く、わかりやすいと市場からは高い評価を得ています。



大学生による袋掛け体験（6月8日）



浅原もも便り



## 4. もも産地を支える新たな仲間増えてます

倉敷市、総社市では県の就農促進トータルサポート事業で、ももの新規就農者の確保育成に取り組んでいます。

今年度12月末時点で、倉敷市では3人、総社市では5人がもも農家として就農しました。さらに、2人の実務研修生が就農に向けて準備を進めています。

若者が就農することで、Uターン就農する人も増えており、地域の活性化に役立っています。



もも産地を見学する就農希望者（6月21日）

## 5. 産地力を結集！玉北新たな取り組みへ

高齢化や後継者不足で生産力が減少する中、玉島北園芸協会もも部会は、関係機関と共に「果樹産地振興プラン」を作成しました。

産地の維持発展を図るため、新規就農者の受け入れや、園地の流動化、GAPの導入などの専門部会を設置し、検討を進めています。



果樹産地振興プラン検討会議（10月30日）

## 6. 地域ブランド品種「<sup>めぐみはく</sup>恵白」、「<sup>ふゆもも</sup>冬桃がたり」拡大中！

倉敷地域では、8月下旬～9月中旬に成熟する「恵白」と、11月中旬に収穫して12月から出荷する「冬桃がたり」の2品種について、試験ほを設けて特性調査を行っています。

まだ研究中ではありますが、生産者の興味は非常に高く、地域ブランド品種としてももの長期出荷の一翼を担うことが期待されています。「冬桃がたり」は、岡山大学等と連携して栽培技術や貯蔵方法の確立をめざしていきます。

※「恵白」、「冬桃がたり」は商標登録されています。



「恵白」試食会（9月5日）



「冬桃がたり」勉強会（11月5日）

# 特集② 育て！水田農業の担い手

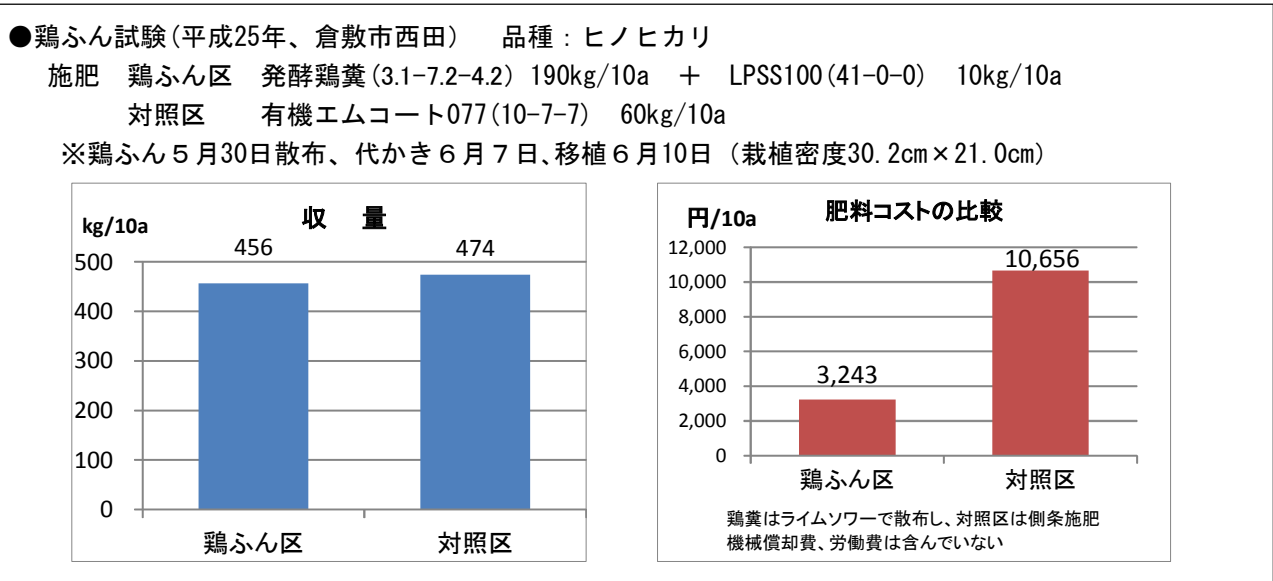
## 1. 水稻栽培の低コスト化

米価が低迷し水田農業の担い手不足が懸念されます。農家所得を向上するためには生産コストを低減するしかありません。低コスト栽培方法として鶏ふんを用いた施肥コスト低減、使用苗箱数を削減した疎植栽培があります。

### (1) 鶏ふんを用いた施肥コスト低減

鶏ふんと緩効性肥料（窒素単体）を組み合わせ、穂肥の省力化と低コスト化を図りました。

その結果、鶏ふんは入水直前（2週間前以内）に施用することで大幅に肥料代を削減できました。

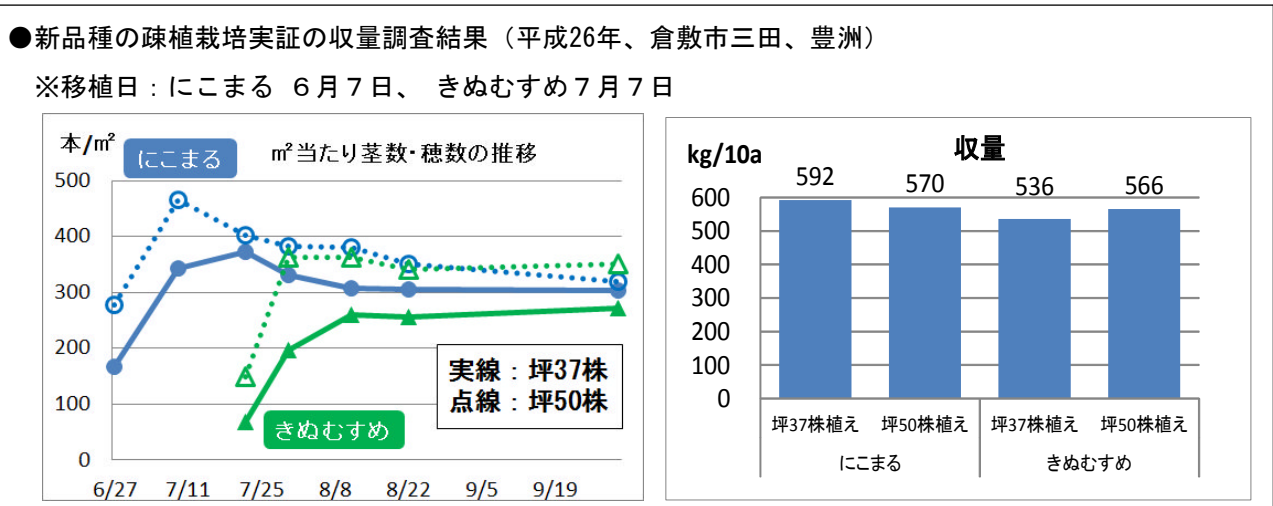


### (2) 使用苗箱数を削減した疎植栽培

「アケボノ」の疎植栽培では坪37株植え（10a当たり苗箱数10枚）が確立していますが、「にこまる」、「きぬむすめ」については取り組み事例がありませんでした。そこで現地で実証を行いました。

「にこまる」の疎植（坪37株植え）は、十分普及性があると思われました。

一方「きぬむすめ」は面積あたり茎数は少なかったものの、一穂粒数が増加し、収量に大差はありませんでした。今後も継続して普及性を確認します。





## 2. 麦の低コスト化

麦の基肥に鶏ふんを用いた肥料コスト低減実証を行っています。肥料の組み合わせや施用量により、3～4割のコストが削減できます。土壌分析でリン酸やカリが十分と認められた場合、追肥に硫安を用いてコスト低減を図る施肥設計も可能です。

また、現在栽培されている二条大麦「おうみゆたか」が平成27年度から「スカイゴールデン」に品種転換されます。それに伴い、省力を目的とした新しい一発肥料が開発されました。従来の一発肥料より後半に肥効が現れるため、粗蛋白含量の向上など、品質の向上が期待されています。平成27年産麦において肥料の効果確認を行っています。

岡山県では麦の生産振興を進めており、これらの実証結果をふまえ情報提供を行うことにより、一層の安定生産に向けて支援します。



麦現地研修会（5月8日）

### ●鶏ふんを用いた肥料コスト比較

従来の一発肥料を用いた場合

麦これ一発 50kg/10a (@ 3,574 円/20kg)

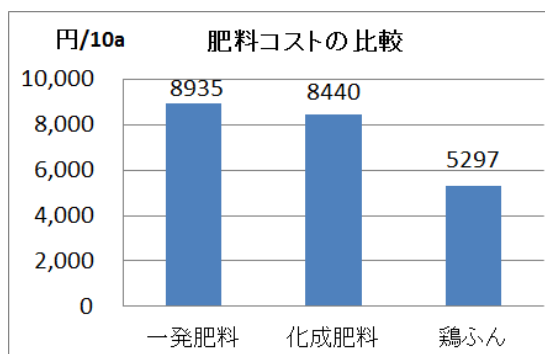
化成肥料による分施の場合

PKセーブ422 80kg/10a (@ 2,110 円/20kg)

鶏ふんと硫安を用いた場合

鶏ふん 200kg/10a (@ 187 円/13kg)

+硫安 20kg/10a × 2回 (@ 1,210 円/20kg)



## 3. 水田農業大規模経営体ネットワークで地域連携！体質を強化しよう！！

平成25年9月に総社市、倉敷市の集落営農等12組織でネットワークを設立し、同年12月には個別経営体15戸が加わり27経営体で運営しています。3ヶ月毎の定例会、会員相互訪問、情報交換等の活動を行っています。

施策や新技術、病虫害等の情報がタイムリーに得られ、作業支援や得意分野のノウハウ交換で、お互いに助け合う関係が生まれるなど好評を得ています。

今後も、農家主導の主体性のある活動を進めていきます。



会員相互訪問研修（8月6日）

## 新規参入者の募集をバックアップ！

今年から、倉敷地方新農業経営者クラブ連絡協議会は、産地を盛り上げるために若い新規参入者の勧誘を始めました。

県内外の相談会に会員が参加し、栽培方法や生産出荷組織の仕組み、地域生活や子育て環境について説明を行いました。

さらに独自に、現地相談会「就農相談夜会」を始めました。県外から多くの就農希望者が参加し、1泊2日で納得していただけるまで話げできました。

## 倉敷地方新農業経営者クラブ 連絡協議会（管内全域）



大阪での就農相談会（10月4日）

## 複式簿記からはじめる経営改善

## 新規就農者（管内全域）

普及指導センターでは、昨年度から新規就農者（就農5年以内）と農業実務研修生（58人）を対象に「農業経営基礎講座」を開催しています。

複式簿記の基礎、パソコン農業簿記、青色申告を始めとする農業に関わる税制等を学ぶことが、経営の分析や計画づくりに役立ち、経営改善につながることを期待しています。



「パソコン農業簿記 初級編」の様子（9月25日）



「税務研修会」の様子（12月10日）



## 次世代フルーツを進めています

ぶどう生産組合および生産者（管内全域）

### ○展示ほを活用した美味しい「シャインマスカット」推進

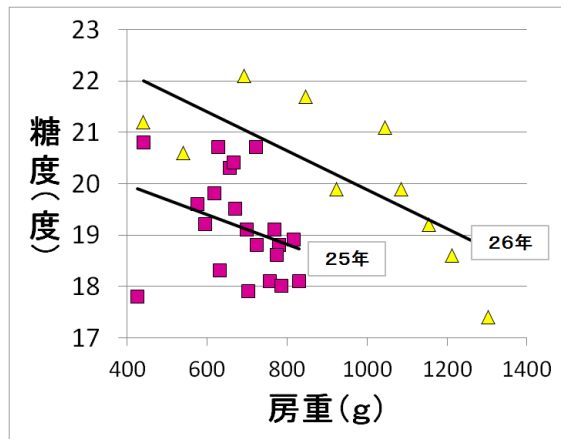
岡山県は、次世代フルーツの1つとして「シャインマスカット」の生産拡大と高品質安定生産を図るため、平成24年から県内の5か所に展示ほを設置しています。

倉敷管内では、総社市福谷に展示ほを設置し、管内の生産者を対象に6月と9月に研修会を実施し、房づくりの徹底を推進しました。3年間の調査の結果、大房になると糖度が減少することがわかりました。

シャインマスカットは急速に拡大し、現在17haを超える面積となっています。今後とも関係機関と連携し、高品質安定生産を進めていきます。



収穫時の研修（総社市，9月11日）



果房重と糖度との関係

### ○食べてもらうことが一番のPR

管内の特産である「マスカット」や「ピオーネ」、次世代フルーツである「シャインマスカット」や「紫苑」を有利販売するため、関係機関と連携して試食宣伝や消費者ニーズのアンケート調査を実施しました。

試食宣伝では、「美味しい」との意見がほとんどですが、まだまだ次世代フルーツの知名度が低く初めて食べる消費者も多いため、今後も継続したPR活動が必要です。

### 平成26年度の主なPR活動（ぶどう）

日程	場所	主なPR品種
6月14～15日	銀座千疋屋	マスカット
6月12日	山手直売所	マスカット
7月11～12日	阪神百貨店(梅田)	ピオーネ、シャイン
10月18日	山手直売所	紫苑



阪神百貨店でのPR活動（7月11～12日）

# 力を入れていきます！

## 年末年始も連島ごぼうが食卓に♪

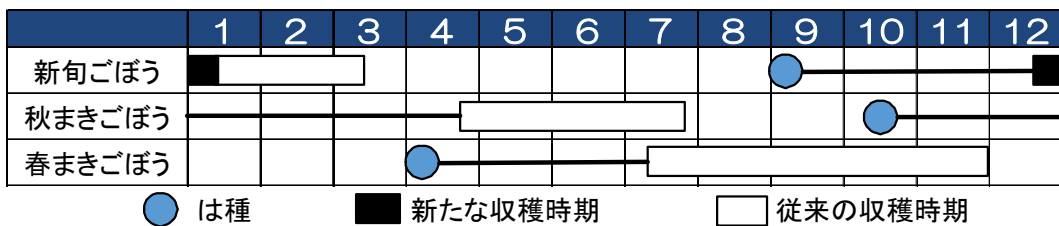
J A 倉敷かさや東部出荷組合では、平成26年度から、年末年始の需要期にも連島ごぼうを出荷できるよう「新旬ごぼう」の出荷時期前進に取り組んでいます。

平成17年から「新旬ごぼう」の作型を導入して出荷時期を長期化しており、今回の取り組みによって、ほぼ周年の出荷が可能になりました。今後は12月からの出荷体制を整えるとともに作型確立を目指しています。

### J A 倉敷かさや東部出荷組合 (倉敷市)



「新旬ごぼう」の初出荷（12月20日）



## チャレンジセロリ教室開講！

総社市旧山手村地区は昭和33年から始まる県内唯一のセロリ産地です。一時は西日本最大の産地でしたが、宅地化の進行、高齢化や後継者不足などで、栽培面積は減少を続けています。

そこで今年度、J A、総社市と一緒に特産である山手セロリ産地の復活を目指し、新規の栽培者を募集しました。現在2名の受講生が「チャレンジセロリ教室」で種まきから収穫まで実習を通して研修中です。

### J A 岡山西山手支店 野菜・メロン部（総社市）



生産者からセロリの移植方法を教わる受講生（10月6日）



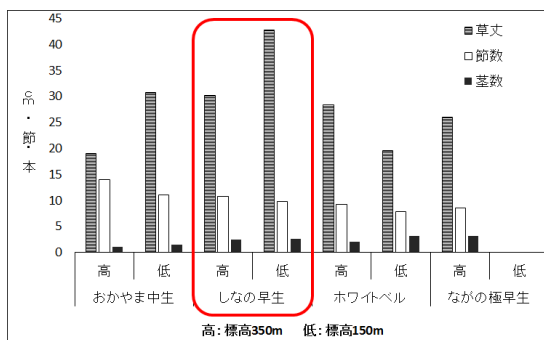
# 力を入れています！

## 総社で有望なりんどうの品種はどれだ！

総社リンドウ生産出荷組合（総社市）

総社リンドウ生産出荷組合（7戸、30a）は3年前から本格的にりんどうの導入を始めました。平成26年度からは、更なる産地拡大に向けて、標高の異なる2カ所（標高150m、350m）で有望品種の選定を行っています。

これまでの結果から、既存のおかやまオリジナル品種に加え、市販品種でも有望品種が選抜できそうです。



総社りんどう品種比較試験（定植1年目）



りんどうの品種検討

## ヒートストレスメーターを活用して夏を乗り切る！！

びなん酪農組合（管内全域）

乳牛は暑熱によるストレスを受けやすく、生産性（乳量や乳質、繁殖成績等）に大きく影響することから、びなん酪農組合（39戸、うち倉敷管内11戸）では、これまで牛舎屋根へのドロマイト石灰塗布や送風機整備等の暑熱対策に取り組んできました。

これらの取り組みに加えて、今年度から備南地区酪農経営支援チームは、温度と湿度から乳牛の不快指数を表示するヒートストレスメーターを全戸に配布しました。このメーターを送風機の風量調節の目安などに活用し、暑熱対策をすすめていきます。



ヒートストレスメーター

# ご存じですか？

## 市内百貨店で「<sup>いちごいちえいち</sup>15一会市」開催

倉敷地方農村生活交流グループ協議会（13グループ、会員数131人）は、偶数月の15日に倉敷市内の百貨店で「15一会市」を開催し、農産加工品の販売を行っています。

直売所では低価格競争の中で販売せざるを得ないため、平成24年度から容器、容量、ラベル、価格、賞味期限等、既存商品の見直しをしました。これらの商品を市内の百貨店で販売し直接消費者の声を聞くことで、更に良い商品とし、ブランド化を進めています。

特に4月に販売したもものシロップ漬は、百貨店のバイヤーの目に留まり、その後常時販売できるようになりました。



百貨店で常時販売できるようになった「桃いっぱい」  
(もものシロップ漬)

## 「朝日特別栽培れんげ米」をどうぞ！

吉備路朝日米特別栽培農産物生産組合（34戸、2組織、35ha）は、平成26年かられんげ緑肥を利用した「朝日特別栽培れんげ米」約22haを栽培しています。

今年度からJA岡山西山手直売所「ふれあいの里」でも販売することになり、当直売所で、新米を炊いてPR試食と、知名度や味、顧客ニーズを調査するアンケートを行いました。

今後も「朝日特別栽培れんげ米」の高品質安定生産とブランド化を行っていきます。



直売所で試食アンケート調査（11月15日）



# ご存じですか？

## イネWCS専用品種「たちすずか」の栽培が拡大

近年、籾が少なく茎が多収で、高糖分で消化性に優れ、収穫適期幅も長いイネWCS（稲発酵粗飼料）専用品種の「たちすずか」が注目され、岡山県でも平成25年度から「Motto自給飼料！稲WCS専用品種普及対策事業」で、種子代の助成や団地化の支援を行っています。

倉敷管内では「アケボノ」を主体に約46ha分のイネWCSが生産されてきましたが、昨年度から「たちすずか」の試作に取り組み、今年度は総社市の2つの集落営農組織が本格的に栽培を始めました（10.1ha）。

単収は「アケボノ」の1.2～1.5倍の実績（約2.8t/10a）をあげました。

今後も、畜産農家の需要にあわせ、交雑等に注意しながら専用品種の生産を拡大していく予定です。



WCS専用品種「たちすずか」の収穫作業

## はじめまして！新農業士です

**岡田 秀樹 さん**（倉敷市）

〔基幹品目〕ぶどう、水稻

昭和63年に就農し、機械や雇用労働力を有効に活用することで、県下有数の大粒系ぶどうおよび水稻の大規模複合経営を実現し、地域のモデル農家として活躍されています。





# 受賞おめでとうございます

## 黄綬褒章

### 津郷 宜正さん（倉敷市）

岡山県果樹研究会会長や全国果樹研究連合会ブドウ部会長などを歴任し、果物王国おかやまの牽引役として活躍されました。



## 日本農業賞（県代表）

農事組合法人山田宮農組合  
（総社市）



## 農山漁村生活交流 グループ活動表彰 池田根っ子の会（総社市）



## 岡山県農林漁業功労者表彰 （知事表彰）



**浅野 浩一さん**  
〔倉敷市、スイートピー〕



**渡辺 常吉さん**  
〔倉敷市、もも〕



**香西 達夫さん**  
〔総社市、有機にんじん〕



## 岡山県農林漁業功労者表彰 (農林水産部長表彰)



浅野 俊彦さん  
〔倉敷市、もも〕



仮谷 真戊留さん  
〔総社市、アレキ〕



東 守さん  
〔総社市、水稲〕

新しく農業始めます！どうぞよろしく



浅原勝利さん  
(倉敷市,もも)



岩崎賢二さん  
(倉敷市,もも)



上野正貴さん  
(倉敷市,スイートピー)



安延和幸さん  
(倉敷市,もも)



吉田健太郎さん  
(倉敷市,いちご)



井田和宏さん  
(総社市,水稲)



加藤通孝さん  
(総社市,もも)



佐伯亮太郎さん  
(総社市,もも)



永倉隆大さん  
(総社市,もも)



中津尚吾さん  
(総社市,もも)

※平成26年4～10月までに新規就農者として市、町から報告のあった人のみを掲載しています(五十音順)。





岡山県備中県民局農林水産事業部

## 倉敷農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083 番地

TEL (086) 434-7047 (経営・担い手班)

(086) 434-7048 (産地指導第一班)

(086) 434-7049 (産地指導第二班)

FAX (086) 421-8253

E-mail [kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp](mailto:kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp)

HP <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

倉敷普及



検索

※本冊子のカラー版をホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

